

# 一般質問

## 市政のここが聞きたい

第1回定例会の一般質問は、3月4日～7日の4日間で行われ、19名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第1回定例会の本会議の録画映像は、市HPのインターネット映像配信よりご覧いただけます。会議録は、5月下旬より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎1階）でご覧いただけます。

### 家庭ごみ有料化による市民負担は

**北村 龍太**  
(日本共産党)



**質問** 家庭ごみ有料化について、検証結果によると、歳入の指定収集袋の収集手数料から指定収集袋に係る経費を差し引くと1億5000万円ほどプラスになっている。有料化の目的は経費の削減ではないはずだが、どう評価しているのか。

**答弁** ごみ処理経費に19億円ほど掛かっており、手数料収入は経費の一部に充てている。

**意見** 経費を削減できてよかったという話で終わらせていいものではない。歳入は市民負担によるものだと自覚を持ってほしい。

**質問** 耐震改修促進計画について、①耐震化の進捗状況は、②木造住宅耐震改修助成促進のために、無料耐震相談会を市役所以外の場所で行ってはどうか。

**答弁** ①耐震化率は住宅が85・6%、民間特定既存耐震不適格建築物は97・2%、防災上重要な市有建築物とその他の建築物は100%となっている。②相談会は建築設計協会の協力を受け実施している。今後協会と話し合いを持ちたいと考えている。

### 児童虐待防止 市役所全体で推進を！

**村山 順次郎**  
(日本共産党)



**質問** 児童虐待防止について、今年1月に起きた千葉県野田市の児童虐待事件では、容疑者から暴力を受けていることを回答した学校のアンケートのコピーを市教育委員会が容疑者に手渡していたことが分かっている。この行為は、子どもへの攻撃を強めたりするリスクが高まるなどの指摘もある。本市の個人情報保護条例では、①虐待の通告元の情報、②虐待を把握するに至った資料は非開示情報か。

**答弁** ①情報が市にあるかどうかも含めて明かさないと、基本的には非公開となる。

**質問** わかくさ学園に児童発達支援センターの設置を予定しているとのことだが、センターの設置となれば人手のかかる役割、業務が生じることとなる。職員体制を充実し、わかくさ学園の療育を維持・充実させていくことが必要と考えるが見解を伺う。

**答弁** 31年度の行事は、30年度と同様のものを実施していく。またセンターについては、国の方針を踏まえて今後検討していく。

### ついにデマンド型交通実験運行へ

**佐藤 一郎**  
(未来政策フォーラム)



**質問** 地域公共交通の充実へ向けた短期的施策として「デマンド型交通の実験運行に向けた運営方針」が取りまとめられ、運行開始は来年3月からとタイトなスケジュールになっている。最初に地域公共交通会議の開催が位置付けられているが、会議の予定と進め方について伺う。

**答弁** 5月からおおむね月1回程度開催し、8月末には協議を調え、その後はスケジュールに沿って事業者の選定など、31年度末の実験運行開始に向けて進めていく。

**質問** 予算編成過程の見える化について、予算参考資料に編成過程の資料が掲載されており、要求・庁議報告・予算案とステップを踏む過程で数字に変動がある。編成過程でこのように予算額に変動があったものは、この資料にあるものだけなのか。

**答弁** 庁議報告後にも歳入・歳出の乖離を踏まえた調整、国や東京都の新年度予算、30年度補正予算などの動向を踏まえた追加要求等もあり予算は変動している。

### 市民に寄り添った予算編成を

**間宮 美季**  
(市民自治フォーラム)



**質問** 西部地域の小学校の再編成について、①なぜ第1回統合準備会の日時や場所を準備委員会以外の保護者に伝えなかったのか、②議会に配付された下里小保護者説明会の実施報告には、保護者から意見があったのに書かれていないものがあるのはなぜか。

**答弁** ①委員の保護者代表に開催通知を送付した。下里小と第十小の保護者に準備会の記録と当日の資料を送付した。

**教育長** ②都合の悪いことは載せないという方針ではなく、会議全体の中で重要と思われるものについて記載をしている。

**質問** 子ども家庭支援センターについて、センター長は現在、児童青少年課長が兼務している。センターへのセンター長の配置を求めが見解を伺う。

**答弁** 31年度に向けては嘱託員1名の増員を見込むなどして体制強化のため増員を図っている。引き続き課長が兼務する体制の下、児童虐待防止に向けた相談業務などに取り組んでいきたい。

### 情熱改革派・宮川豊史の新時代の決意

**宮川 豊史**  
(久留米ハートネット)



**質問** 目が見えない私が今この場に立っているのは、数え切れないほどの皆さんのご支援・ご協力があったから。今度は私が恩返しする番。今、私が議員としてできること。それは将来にこれ以上借金を残さないために、全力で改革に取り組みたい。新時代を生きて子ども達に莫大な借金を残すわけにはいかない。将来に負担をかけても何とも思わない政治を変え、借金をすることが当り前の時代を終わらせる。そこそ私がこの時代で議員として存在する意義。情熱改革派・宮川豊史はこれからも久留米市のためにありつたけの情熱を注ぐ決意。

**公務員削減の目標は達成できるか。**

**答弁** 目標は58名だが、現在58名。

**質問** 残業代(超過勤務手当)の削減は。

**答弁** 長時間労働是正の制度整備を検討中。

**質問** 市長車の私的利用は住民監査請求の対象となるか。

**答弁** 一般論として、条件等を満たせば対象となる。

### 行政運営には、常に改革・改善を

**篠宮 正明**  
(自民クラブ)



**質問** 31年度予算は対前年度比9億9400万円の減となった。スクラップ・アンド・ビルドの視点から事業を検討したことによる効果と考えるが、どう捉えるか。

**答弁** 各担当部署の創意工夫の積み重ねにより、予算ベースでの経常経費の伸びが29年度から30年度では6億9000万円だったが、30年度から31年度では4億円と増加が抑制できた。さらに4億円の増加に対する経常経費充当一般財源の伸びは、約5600万円に留まるという効果にもつながった。

**質問** 農産物の地産地消の推進を図る方策として学校給食との連携が有効と考えるが、見解を伺う。

**答弁** 農業振興計画の8つの重点事業の一つに、学校給食供給への仕組みづくりがある。農業者へのアンケート・インタビューによる調査等を実施し、結果について農業者と学務課、産業政策課の職員による意見交換会を開催した。引き続き連携を進めながら、地産地消の推進に向けて検討を進めていきたい。

### 明日へ向けた成長・発展のカギ！

**小山 實**  
(自民クラブ)



**質問** 人口減少が都市消滅の原因となる可能性があることが関係付けられて以来、人口動態が注目されている。市の人口減少は改善傾向にあるとされるが、①動態傾向は、②少子化対策との関連を伺う。

**答弁** ①昨年3月の国立社会保障・人口問題研究所の人口推計は、2050年代まで人口10万人維持を目指す市の人口ビジョンと近い値を示しており、27年当時の推計より人口減少の抑制が図られている。

**市長** ②保育園の待機児童解消策や保育サービス充実、児童館等での子育て支援機能の強化など、子育て世帯のニーズに応じた環境づくりが、少子化対策にも寄与したと考える。

**質問** 近年の都市計画道路の整備は目覚ましい。役割とネットワーク整備の考え方は。

**答弁** 都市計画道路は、まちの骨格となり、流通や防災機能の強化、都市景観の創出など重要な基盤施設である。主要幹線道路、幹線道路、補助幹線道路に区分し、安全で快適な道路ネットワークを目指している。

### 安心のまちづくりのために

**関根 光浩**  
(公明党)



**質問** 児童虐待の防止について、①要保護児童対策地域協議会との定期的な情報交換が行われているか、②協議会の構成は、③個別ケースの対応はしっかり行われているか伺う。

**答弁** ①実務者会議を年に4回実施している。②構成メンバーは警察、児童相談所、保健所民生・児童委員、学校、市の関係部署などである。③急ぎ対応が必要な場合は、関連する機関の関係者が会議をもって対応している。

**質問** スマートフォンアプリLINEを活用した通報システムについて、市民から市の管理道路で見つけた危険個所の状況をLINEで提供してもらい改善を図る自治体が出てきている。本市でも検討してはどうか。

**答弁** 道路舗装路面の損傷などの把握は、巡回車などによる目視や、市民や利用者からの電話やメールなどの情報により現地の状況を確認し必要な対応を行っている。提案の通報システムについては、まずは運用している自治体などの情報収集、近隣市などの動向を注視したい。

### 安心・安全のまちづくりを！

**津田 忠広**  
(公明党)



**質問** ①新宮前通りと所沢街道の交差点、②新小井井街道と所沢街道の交差点への右折信号機の設置について見解を伺う。

**答弁** 交通管理者へ改めて確認したところ、①新宮前通りの車道幅が必要で現状での設置は難しいとのこと、引き続き協議を行っていききたい。②右折需要が少ないため、引き続き利用状況を注視したいとのことである。

**質問** 通学路の防犯カメラの設置について、①設置の進捗状況は、②31年度予算で設置事業を計上するに至った経緯は、③「防犯カメラ作動中」の看板設置の進捗状況は。

**答弁** ①28年度に3校、29年度に5校、30年度に5校に設置し、市内全13校の小学校の通学路に各校5台の設置が完了。②30年度で終了予定であった東京都の補助事業が継続すること、整備対象箇所が広がったことから緊急合同点検の結果を踏まえ、設置を進めることとした。③犯罪の抑止効果を高めるため、1台の防犯カメラに対し1枚となっている箇所にも、もう1枚の看板設置を進めたい。